

日本英学史学会 中国・四国支部

平成 25 年度 総会・第 1 回 (通算 68 回) 研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成 25 年度支部総会、及び第 1 回 (通算第 68 回) 支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回の研究例会では、2 本の研究発表が予定されています。お誘いあわせの上ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。 敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

日 時： 2013 年 5 月 25 日 (土) 12:30 受付開始
会 場： 安田女子大学 9 号館 9522 教室 (5 階)
〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東 6-13-1 TEL 090-1185-4814 (会場担当 松岡携帯)
参加費： 会員、非会員とも無料

支部総会 (13:20 ~ 13:50)

議長選出、前年度活動報告、会計報告、会計監査報告、平成 25 ~ 26 年度役員選出、新年度活動計画、他

開会行事 (14:00 ~ 14:10) 支部長挨拶

研究発表 (14:10 ~ 15:20)

「大正 10 年の英語授業視察 (福岡・佐賀・長崎) について：防長教育会委託學事視察復命書より」
隈 慶 秀 (福岡県立明善高等学校)

「防長教育会委託學事視察復命書」は、山口県防長教育会より委託をうけた近藤春和 (山口県立山口中学校教諭) が大正 10 年 11 月に福岡・佐賀・長崎の 3 県にまたがって中学校 4 校 (視察学校 福岡県立中学修猷館、福岡県立福岡中学校、佐賀県立佐賀中学校、長崎県立長崎中学校) の英語授業を視察した学事復命書である。「中学校上級ニオケル英語教授ノ状況及上級学校入学受験準備ノタメノ施設」を視察事項としている。具体的には中学 4 年・5 年を対象に、(一) 英譯読、(二) 文法作文の詳細な英語授業観察と、(三) 時間配当及特別施設の計三項目について記録されている。本発表では英語授業発達史の観点から本復命書を考察する。

<休憩>

研究発表 (15:30 ~ 16:40)

「京城中学校の英語 教育について：中学修猷館との関わりを中心に」
安 部 規 子 (有明工業高等専門学校)

京城中学校は、在朝鮮日本人の教育のためにできた最初の中学校として明治 42 (1909) 年に創立された「京城民団京城中学校」が「朝鮮総督府中学校」など数回の改称を経たものである。慶熙宮 (けいききゅう) という宮殿の跡地という恵まれた立地に立つ同校には、朝鮮総督府が手厚い待遇を与え「朝鮮の学習院」とも呼ばれていたとのことである。その初代校長は、福岡県の中学修猷館の初代及び第 4 代館長であった隈本有尚 (くまもと・ありたか) で、中学修猷館離任後、長崎高等商業学校長、文部省視学官、英国留学を経て着任した。隈本は英語教師に英国人を 1 名配置し、格調高い雰囲気の中、修猷館と同様に英語を重視した教育を行った。教員のレベルも高く、内地では中学校の校長や高等学校の教授を経験した教員が招致された。修猷館にゆかりがある教員も多く、第 5 代館長の小寺甲子二や後の広島高師教授須貝清一も教壇に立っている。本発表では京城中学校の英語教育について、『朝鮮総督府及所属官署職員録』や創立当初の生徒の回想録、朝鮮総督府発行の「教科用図書一覧」などからの調査結果を報告する。

<感想記入>

閉会行事 (16:45 ~ 17:00) 副支部長挨拶、写真撮影

懇親会 (18:00 ~ 20:00)

とり楽 毘沙門店 (広島市安佐南区大町東 4-10-28 TEL 082-879-3166) 会費 3,000 円

アストラムライン「毘沙門台駅」(安田女子大前の「安東駅」から広島市内中心部へ向って 1 駅) すぐ

研究例会会場への交通案内

(以下, 安田女子大学ホームページ <http://www.yasuda-u.ac.jp/>より)



会場の9号館は, 上図 21 の校舎です。アストラムライン安東駅からは, 専用エスカレータ(24番)をご利用ください。